

障害者総合支援法における「障害支援区分」への見直し

(平成26年4月1日 施行)

① 名称・定義の変更（第4条第4項）

- 「障害の程度（重さ）」ではなく、標準的な支援の度合を示す区分であることが分かりにくい。

名称：障害程度区分

定義：障害者等に対する障害福祉サービスの必要性を明らかにするため当該障害者等の心身の状態を総合的に示すもの。

名称：**障害支援区分**

定義：障害者等の障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて**必要とされる標準的な支援の度合**を総合的に示すもの。

② 知的障害・精神障害の特性の反映（附則第2条）

- 知的障害者や精神障害者について、コンピューターによる一次判定で低く判定される傾向があり、市町村審査会による二次判定で引き上げられている割合が高く、その特性を反映できていないのではないか、との課題が指摘されている。

一次判定から二次判定で引き上げられている割合

【平成22年10月～平成23年9月】身体障害：20.3%、**知的障害：43.6%、精神障害：46.2%**

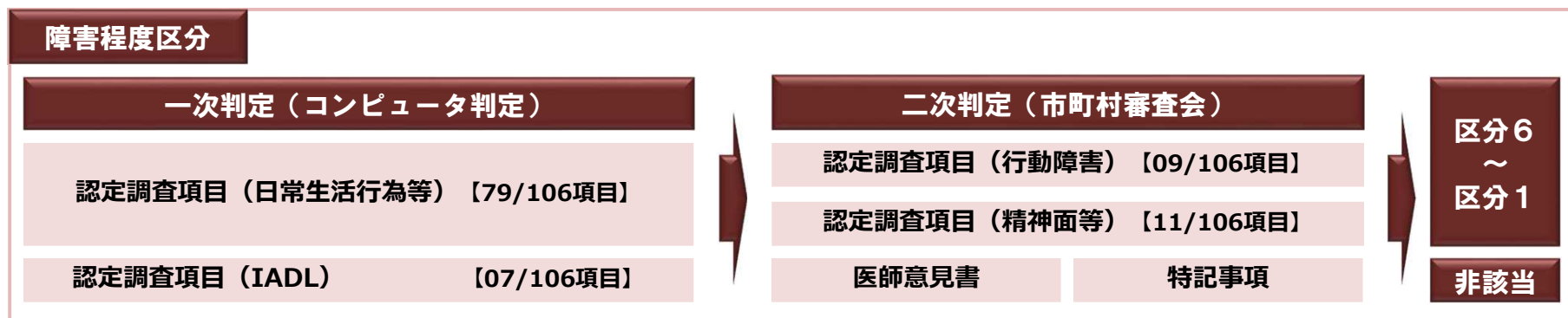
【平成23年10月～平成24年9月】身体障害：17.9%、**知的障害：40.7%、精神障害：44.5%**

政府は、**障害支援区分の認定が知的障害者及び精神障害者の特性に応じて適切に行われるよう**、区分の制定に当たっての**適切な配慮その他の必要な措置を講ずる**ものとする。

③ 法施行後3年を目途とした検討（附則第3条）

政府は、**障害者総合支援法の施行後3年（障害支援区分の施行後2年）を目途として、『障害支援区分の認定を含めた支給決定の在り方』等について検討**を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。

障害支援区分の審査判定プロセス（障害程度区分からの改正点）



○知的・精神・発達障害等を中心に、障害特性をより反映できる認定調査項目が必要。

○「できたりできなかったりする場合」の「できない場合」が一次判定で評価されにくい。

○行動障害や精神面に関する認定調査項目が一次判定において活用（評価）されていない。

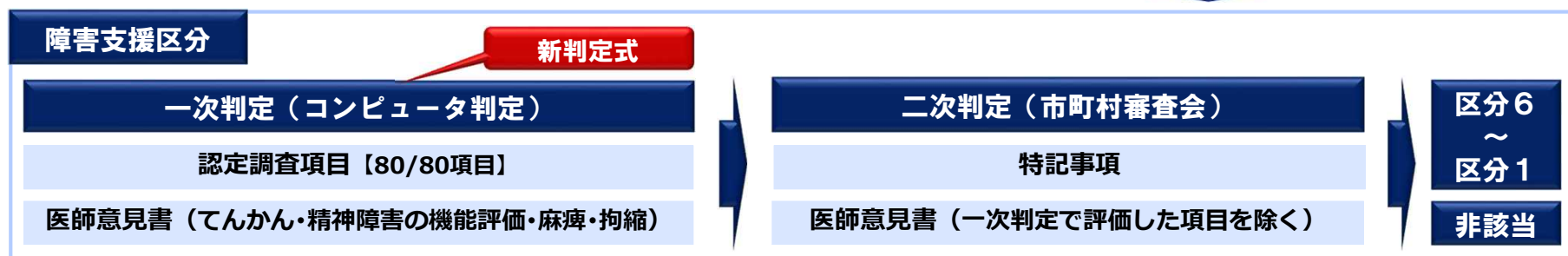
○二次判定（市町村審査会）において、一次判定結果を引き上げる割合は、各地域において差が生じている。

認定調査項目の見直し

- ・認定調査項目の追加・統合・削除、選択肢の統一
- ・認定調査における判断基準の見直し

新たな判定式（コンピュータ判定式）の構築

- ・二次判定の引き上げ要因を組み込んだ「全国一律の新たな判定式（コンピュータ判定式）」を構築



新判定式

認定調査項目の見直し（106項目 → 80項目）

① 認定調査項目の追加

○特に、知的障害、精神障害や発達障害の特性をより反映するため、以下の認定調査項目（6項目）を追加。

新規	健康・栄養管理	「体調を良好な状態に保つために必要な健康面・栄養面の支援」を評価
	危険の認識	「危険や異常を認識し安全な行動を行えない場合の支援」を評価
	読み書き	「文章を読むこと、書くことに関する支援」を評価
	感覚過敏・感覚鈍麻	「発達障害等に伴い感覚が過度に敏感、過度に鈍くなることの有無」を確認
	集団への不適応	「集団に適応できないことの有無やその頻度」を確認
	多飲水・過飲水	「水中毒になる危険が生じるほどの多飲水・過飲水の有無やその頻度」を確認

※その他、既存の認定調査項目における評価内容（評価範囲）の見直しを実施。（以下、主な見直し項目を例示。）

食事	▶	食事開始前の食べやすくする支援も評価	視力・聴力	▶	全盲・全ろうも評価（選択肢の追加）
行動上の障害	▶	行動上の障害が生じないように行っている支援や配慮、投薬等の頻度も含めて評価			

② 認定調査項目の統合・削除

○認定調査時における障害者等の負担軽減を図るため、評価が重複する認定調査項目等を統合（14項目→7項目）・削除（25項目）。

統合	上衣の着脱	洗身	調理	意思の伝達	独自の意思伝達	被害的	大声を出す
	ズボン・パンツの着脱	入浴準備・後片付け	食事の配膳・下膳	指示への反応	説明の理解	疑い深く拒否的	通常と違う声
	衣服の着脱	入浴	調理	コミュニケーション	説明の理解	被害的・拒否的	大声・奇声を出す

削除	麻痺(5項目)・拘縮(6項目)	じょくそう以外の皮膚疾患	飲水	洗顔	整髪
	つめ切り	毎日の日課の理解	生年月日をいう	短期記憶	自分の名前をいう
	今の季節を理解	場所の理解	幻視幻聴	火の不始末	文字の視覚的認識

③ 判断基準の見直し

○「できたりできなかったりする場合」の「できない場合（支援が必要な場合）」を評価するため、判断基準を見直し。

障害程度区分

「できたりできなかったりする場合」は、「**より頻回な状況**」に基づき判断。

障害支援区分

「できたりできなかったりする場合」は、「**できない状況（支援が必要な状況）**」に基づき判断。

「できない状況」に基づく判断は、運動機能の低下に限らず、

- ・「**知的・精神・発達障害による行動上の障害（意欲低下や多動等）**」や「**内部障害や難病等の筋力低下や易疲労感**」等によって「できない場合」
- ・「**慣れていない状況や初めての場所**」では「できない場合」を含めて判断。

できたりできなかったりする場合の
頻度等は「特記事項」に記載

一次判定（コンピュータ判定）で評価

二次判定（市町村審査会）で評価

④ 選択肢の統一

○関連する認定調査項目の選択肢を統一するとともに、見守り等の支援も評価するなど、評価内容（評価範囲）を見直し。

身体介助関係

1. 支援が不要
2. 見守り等の支援が必要
3. 部分的な支援が必要
4. 全面的な支援が必要

見守りや声かけ等の支援によって
行為・行動ができる場合も評価

日常生活関係

1. 支援が不要
2. 部分的な支援が必要
3. 全面的な支援が必要

普段過ごしている環境ではなく
「自宅・単身」の生活を想定して評価

行動障害関係

1. 支援が不要
2. 希に支援が必要
3. 月に1回以上の支援が必要
4. 週に1回以上の支援が必要
5. ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要

行動上の障害が生じないための支援や
配慮、投薬の頻度も含めて評価

障害支援区分の認定調査項目（80項目）

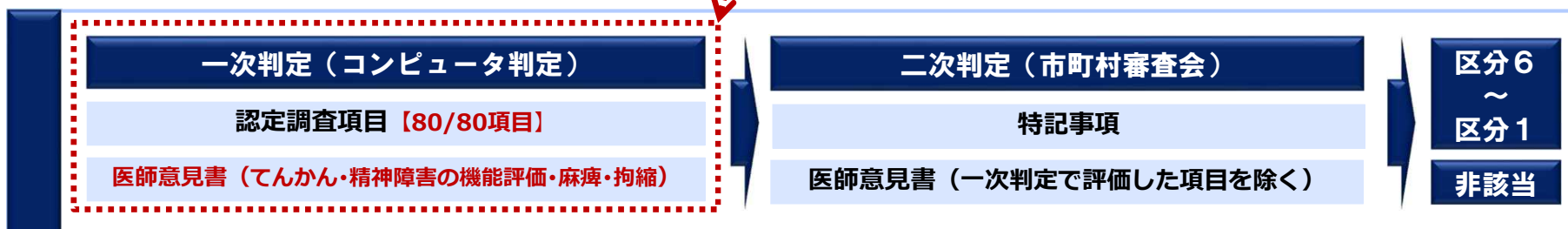
1. 移動や動作等に関連する項目（12項目）				
1－1 寝返り	1－2 起き上がり	1－3 座位保持	1－4 移乗	
1－5 立ち上がり	1－6 両足での立位保持	1－7 片足での立位保持	1－8 歩行	
1－9 移動	1－10 衣服の着脱	1－11 じょくそう	1－12 えん下	
2. 身の回りの世話や日常生活等に関連する項目（16項目）				
2－1 食事	2－2 口腔清潔	2－3 入浴	2－4 排尿	
2－5 排便	2－6 健康・栄養管理	2－7 薬の管理	2－8 金銭の管理	
2－9 電話等の利用	2－10 日常の意思決定	2－11 危険の認識	2－12 調理	
2－13 掃除	2－14 洗濯	2－15 買い物	2－16 交通手段の利用	
3. 意思疎通等に関連する項目（6項目）				
3－1 視力	3－2 聴力	3－3 コミュニケーション	3－4 説明の理解	
3－5 読み書き	3－6 感覚過敏・感覚鈍麻	－	－	
4. 行動障害に関連する項目（34項目）				
4－1 被害的・拒否的	4－2 作話	4－3 感情が不安定	4－4 昼夜逆転	4－5 暴言暴行
4－6 同じ話をする	4－7 大声・奇声を出す	4－8 支援の拒否	4－9 徘徊	4－10 落ち着きがない
4－11 外出して戻れない	4－12 1人で出たがる	4－13 収集癖	4－14 物や衣類を壊す	4－15 不潔行為
4－16 異食行動	4－17 ひどい物忘れ	4－18 こだわり	4－19 多動・行動停止	4－20 不安定な行動
4－21 自らを傷つける行為	4－22 他人を傷つける行為	4－23 不適切な行為	4－24 突発的な行動	4－25 過食・反すう等
4－26 そう鬱状態	4－27 反復的行動	4－28 対人面の不安緊張	4－29 意欲が乏しい	4－30 話がまとまらない
4－31 集中力が続かない	4－32 自己の過大評価	4－33 集団への不適応	4－34 多飲水・過飲水	－
5. 特別な医療に関連する項目（12項目）				
5－1 点滴の管理	5－2 中心静脈栄養	5－3 透析	5－4 ストーマの処置	
5－5 酸素療法	5－6 レスピレーター	5－7 気管切開の処置	5－8 疼痛の看護	
5－9 経管栄養	5－10 モニター測定	5－11 じょくそうの処置	5－12 カテーテル	

新たな判定式（コンピュータ判定式）の構築



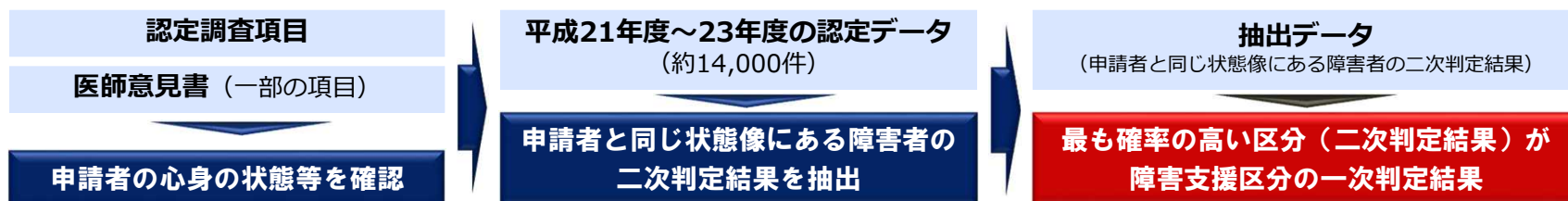
障害程度区分の二次判定（市町村審査会）の引き上げ要因を
障害支援区分の一次判定（コンピュータ判定）に組み込む

全国一律のコンピュータ判定式で評価することにより
二次判定で引き上げる割合の地域差を解消する



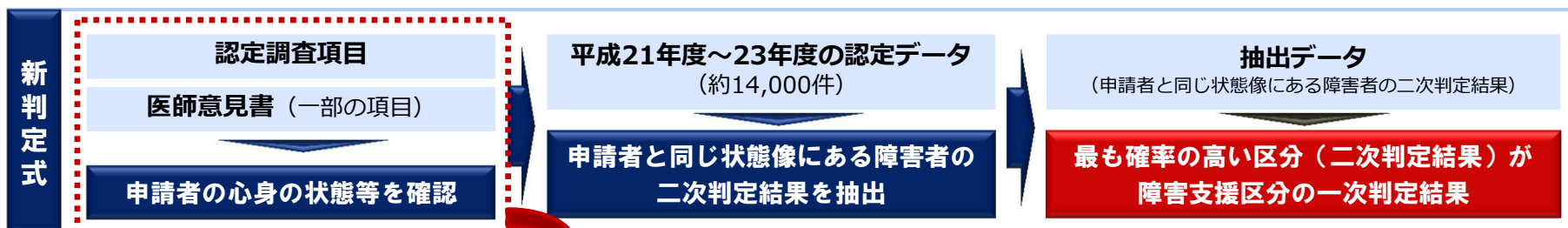
新たな判定式（コンピュータ判定式）

○平成21年度～23年度の認定データ（約14,000件）から、申請者と同じ状態像にある障害者の二次判定結果を抽出。
抽出データのうち、最も確率の高い区分（二次判定結果）を障害支援区分の一次判定結果とする。



（心身の状態等に変化がない場合には、既に受けている区分（二次判定結果）に“より近い”一次判定が出る仕組み）

新たな判定式（コンピュータ判定式）の仕組み



① 申請者の心身の状態等を確認

総合評価項目を活用

○認定調査の結果と医師意見書の内容から、申請者（認定調査の対象者）に必要とされる支援の度合いを数量化。

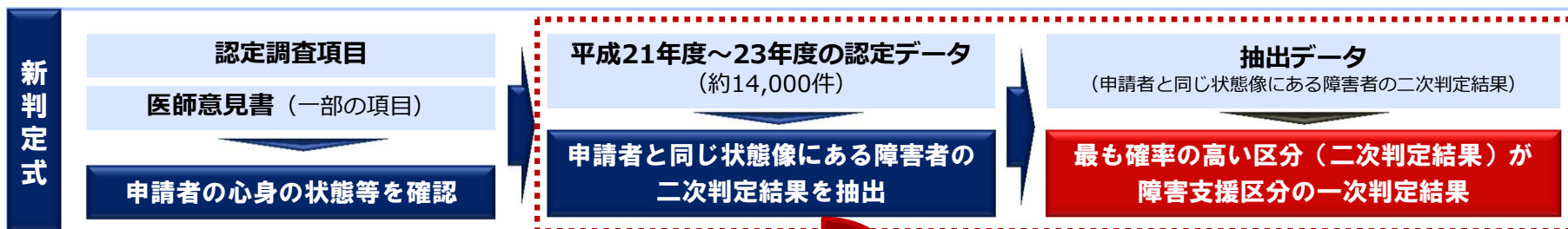
総合評価項目

平成21年度～23年度の認定データ（約14,000件）等を踏まえ、
「支援の行為」や「選択肢の回答傾向」が類似している認定調査項目等をグループ(群)化・点数化した指標。

グループ（群）	構成	グループ（群）	構成
① 起居動作	寝返り、両足での立位保持など	⑦ 行動上の障害A	支援の拒否、暴言暴行など支援面
② 生活機能Ⅰ	食事、排便など	⑧ 行動上の障害B	多動、こだわりなど行動面
③ 生活機能Ⅱ	移乗、口腔清潔など	⑨ 行動上の障害C	話がまとまらない、意欲欠如など精神面
④ 視聴覚機能	視力、聴力	⑩ 特別な医療	点滴の管理、経管栄養など
⑤ 応用日常生活動作	掃除、買い物など	⑪ 麻痺・拘縮	麻痺、拘縮（意見書）
⑥ 認知機能	薬の管理、日常の意思決定など	⑫ その他	てんかん、精神障害の二軸評価など（意見書）

① 起居動作	寝返り	できる	0	見守り等	7.8	部分支援	10.4	全面支援	14.8	認定調査項目等 各々の点数 + グループ(群) 合計 49.0点 申請者の 状態が数量化
	起き上がり	できる	0	見守り等	6.2	部分支援	8.9	全面支援	15.0	
	座位保持	できる	0	見守り等	6.8	部分支援	11.6	全面支援	15.9	
	両足立位	できる	0	見守り等	7.2	部分支援	9.4	全面支援	14.5	
	歩行	できる	0	見守り等	5.4	部分支援	7.7	全面支援	13.6	
	立ち上がり	できる	0	見守り等	5.1	部分支援	7.7	全面支援	14.8	
	片足立位	できる	0	見守り等	2.8	部分支援	3.4	全面支援	11.4	

認定調査結果



② 申請者と同じ状態像にある障害者の二次判定結果を抽出

○数量化の結果を踏まえ、申請者と同じ状態像にある障害者の認定データ（実績）を抽出。

抽出された認定データのうち、最も確率の高い「二次判定結果の区分」を障害支援区分の一次判定結果とする。

一次判定ロジックを活用

一次判定ロジック

平成21年度～23年度の認定データ（約14,000件）等を踏まえ、

- ① **二次判定結果と関連性が高い「各項目の点数」や「グループ(群)の合計点」の組み合わせ（216組）と**
- ② **その組み合わせにおける「二次判定結果（区分ごとの出現割合）」を示す指標。**

216の状態像

No	条件1	条件2	条件3	条件4	条件5	条件6
38 / 216	②生活機能Ⅰ ≤15.5	③生活機能Ⅱ =0.0	⑤応用動作 ≥36.2	⑤応用動作 ≤73.2	⑦行動障害A ≤20.1	感情が不安定 ≥2.1

グループ（群）の合計点

各項目の点数

（例）数量化の結果、この組み合わせ（216組中38番目の状態像）と合致した場合…

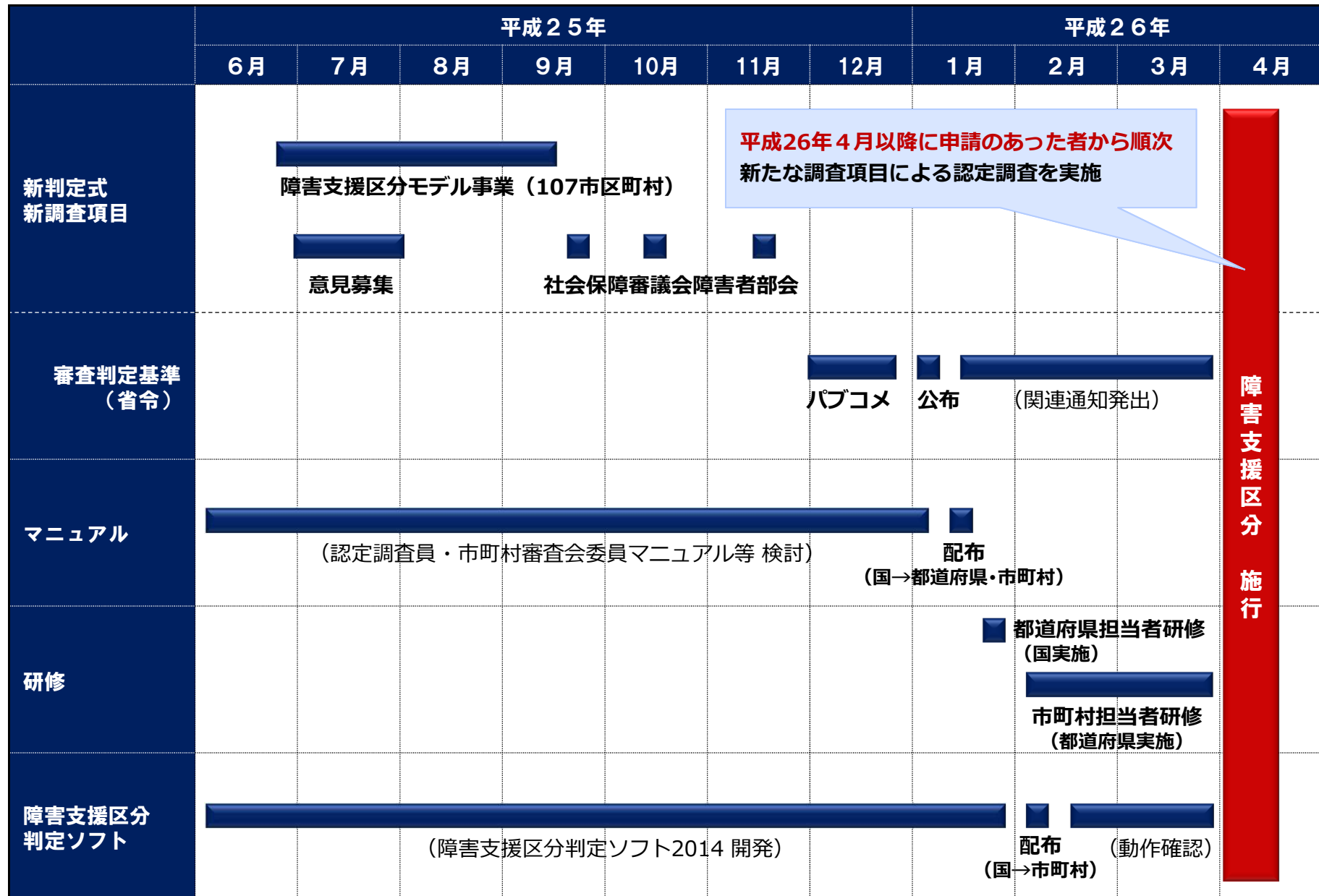
その組み合わせの認定データ（実績）では、二次判定結果が「区分2」の者が最も多い。

No	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
38	0.0%	4.3%	74.5%	20.2%	1.0%	0.0%	0.0%

障害支援区分の一次判定結果
「区分2」

（全国の市区町村における認定業務を支援するため、判定ソフト（障害支援区分判定ソフト2014）を各市区町村に配布。）

障害支援区分の施行に向けたスケジュール



障害支援区分モデル事業の結果検証

(平成25年10月18日現在：96市区町村／2,611件)

1. 「障害支援区分モデル事業 一次判定」×「障害支援区分モデル事業 二次判定」

○知的障害や精神障害について、二次判定での引き上げ率が大きく低下するとともに、身体障害との乖離も改善されるなど、現行（障害程度区分）の判定式と比較では、知的障害や精神障害の特性をより反映できている。

	H23.10～H24.09	モデル事業	差引		修正版	差引
	(a)	(b)	(b) - (a)		(c)	(c) - (a)
全体	34.0%	15.6%	▲18.4%ポイント		15.2%	▲18.8%ポイント
(身体)	17.9%	12.0%	▲ 5.9%ポイント		11.6%	▲ 6.3%ポイント
(知的)	40.7%	15.8%	▲24.9%ポイント		15.3%	▲25.4%ポイント
(精神)	44.5%	21.9%	▲22.6%ポイント		21.1%	▲23.4%ポイント
乖離 (精神) - (身体)	26.6%ポイント	9.9%ポイント	▲16.7%ポイント		9.5%ポイント	▲17.1%ポイント

2. 「現行（障害程度区分） 二次判定」×「障害支援区分モデル事業 一次判定」

○前回認定時と心身の状態等に変動がないと想定されるケース（現行二次判定とモデル事業二次判定が一致した1,477件）では、一致率が80.0%、上下1区分の誤差（±1）までを含めると98.0%であり、現行の二次判定に“より近い”一次判定が出ている。

	現行二次>モデル一次		一致	現行二次<モデル一次		修正版				
	-2以上	-1	±0	+1	+2以上	-2以上	-1	±0	+1	+2以上
全体	1.5%	16.2%	80.0%	1.8%	0.5%	1.4%	15.2%	80.4%	2.5%	0.5%
(身体)	1.1%	13.6%	82.4%	2.1%	0.8%	1.1%	13.3%	82.6%	2.1%	0.8%
(知的)	1.0%	16.5%	80.9%	1.4%	0.3%	1.0%	15.4%	81.3%	2.0%	0.3%
(精神)	3.1%	20.5%	74.0%	1.9%	0.5%	2.9%	18.9%	74.9%	2.9%	0.5%

障害支援区分への見直し（案）に対する意見募集の結果概要

1. 意見募集期間

平成25年7月1日～平成25年7月31日

2. 募集方法

厚生労働省ホームページ「意見募集」において公募

3. 意見の主な内容

（1）認定調査項目

（総提出件数：245件）

ア. 認定調査項目

- 知的障害者や精神障害者の特性に限らず、身体障害者や重複障害者等の特性にも留意しながら認定調査項目を検討してほしい。
- 選択肢の「部分的な支援や介助が必要」と「全面的な支援や介助が必要」の判断基準をより明確にしてほしい。
- 家族や支援者の有無や状況など、障害者の置かれている環境に関する項目を認定調査項目に追加してほしい。
- 性的行動や触法行為を行う恐れのある障害者に対する支援の度合も審査判定に必要であり、認定調査項目に追加すべきではないか。
- 障害の特性は多種多様であるため、認定調査項目の統合や削除は行わずに、きめ細かい認定調査を実施すべきではないか。等

イ. 認定調査の実施方法

- 認定調査員によって結果が変わらないよう、認定調査項目の新たな判断基準等を周知徹底し、認定調査員の質の向上（スキルアップ）を図るべき。
- 認定調査員が判断に迷った内容を審査会委員に対して適切に伝達するため、認定調査員に対し、判断に迷った原因などの特記事項への記載を徹底してほしい。等

（2）新たな判定式（コンピュータ判定式）

- 知的障害者や精神障害者の特性に限らず、身体障害者や重複障害者等の特性にも留意しながら判定式を構築してほしい。
- 平成21年度～23年度の約14,000件の認定データに基づき判定式（案）を構築したとあるが、約14,000件の認定データに多種多様な障害の特性等が適切に反映されているのか。
- 現在、利用している障害福祉サービスが継続できるよう、障害支援区分の認定に伴い、現在認定を受けている障害程度区分から下がることのないようにしてほしい。
- モデル事業の結果を踏まえ、明らかに適当ではない組み合わせについては、現行の障害程度区分と同様に警告コードを設けてもよいのではないか。等

別表第一（第一条関係）

群		項 目		点		数									
認 定 調 査 項	1	起居動作	寝返り	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	7.8	部分的な支援が必要	10.4	全面的な支援が必要	14.8				
			起き上がり	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	6.2	部分的な支援が必要	8.9	全面的な支援が必要	15.0				
			座位保持	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	6.8	部分的な支援が必要	11.6	全面的な支援が必要	15.9				
			両足での立位保持	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	7.2	部分的な支援が必要	9.4	全面的な支援が必要	14.5				
			歩行	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	5.4	部分的な支援が必要	7.7	全面的な支援が必要	13.6				
			立ち上がり	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	5.1	部分的な支援が必要	7.7	全面的な支援が必要	14.8				
			片足での立位保持	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	2.8	部分的な支援が必要	3.4	全面的な支援が必要	11.4				
	2	（食事・排泄等） 生活機能Ⅰ	じょくそう	ない	0	ある	10.9								
			えん下	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	13.5	全面的な支援が必要	25.2						
			食事	支援が不要	0	部分的な支援が必要	14.4	全面的な支援が必要	23.9						
			排尿	支援が不要	0	部分的な支援が必要	11.6	全面的な支援が必要	20.1						
			排便	支援が不要	0	部分的な支援が必要	10.9	全面的な支援が必要	19.9						
	3	（移動・清潔等） 生活機能Ⅱ	移乗	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	6.6	部分的な支援が必要	10.7	全面的な支援が必要	15.9				
			移動	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	5.8	部分的な支援が必要	10.8	全面的な支援が必要	17.1				
			入浴	支援が不要	0	部分的な支援が必要	6.1	全面的な支援が必要	16.2						
			口腔清潔	支援が不要	0	部分的な支援が必要	6.9	全面的な支援が必要	15.9						
			衣服の着脱	支援が不要	0	見守り等の支援が必要	6.9	部分的な支援が必要	12.0	全面的な支援が必要	18.2				
			健康・栄養管理	支援が不要	0	部分的な支援が必要	9.3	全面的な支援が必要	16.7						
	4	機能 聴覚	視力	日常生活に支障がない	0	約1 m離れた視力確認表の図が見える	2.8	目の前に置いた視力確認表の図が見える	7.3	ほとんど見えていない	25.5	全く見えない	28.3	見えているのか判断不能	48.9
			聴力	日常生活に支障がない	0	普通の声がやっと聞き取れる	6.4	かなり大きな声なら何とか聞き取れる	9.1	ほとんど聞こえない	9.1	全く聞こえない	9.1	聞こえているのか判断不能	51.1
	5	生活応用 日常生活動作	調理	支援が不要	0	部分的な支援が必要	9.4	全面的な支援が必要	20.2						
			掃除	支援が不要	0	部分的な支援が必要	6.7	全面的な支援が必要	20.9						
			洗濯	支援が不要	0	部分的な支援が必要	7.0	全面的な支援が必要	20.5						
			買い物	支援が不要	0	部分的な支援が必要	7.9	全面的な支援が必要	19.5						
			交通手段の利用	支援が不要	0	部分的な支援が必要	6.9	全面的な支援が必要	18.9						
	6	認知機能	薬の管理	支援が不要	0	部分的な支援が必要	3.3	全面的な支援が必要	11.0						
			金銭の管理	支援が不要	0	部分的な支援が必要	1.4	全面的な支援が必要	9.5						
			電話等の利用	支援が不要	0	部分的な支援が必要	2.6	全面的な支援が必要	10.7						
			日常の意思決定	支援が不要	0	部分的な支援が必要	9.1	全面的な支援が必要	15.6						
			読み書き	支援が不要	0	部分的な支援が必要	4.1	全面的な支援が必要	11.7						
			危険の認識	支援が不要	0	部分的な支援が必要	4.1	全面的な支援が必要	11.7						
			コミュニケーション	日常生活に支障がない	0	特定の者であればコミュニケーションできる	4.1	会話以外の方法でコミュニケーションできる	5.5	独自の方法でコミュニケーションできる	11.0	コミュニケーションできない	14.5		
	7	行動上の障害（	説明の理解	理解できる	0	理解できない	15.3	理解できているか判断できない	15.3						
			被害的・拒否的	支援が不要	0	希に支援が必要	1.9	月に1回以上の支援が必要	2.1	週に1回以上の支援が必要	3.3	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	4.6		
			作話	支援が不要	0	希に支援が必要	2.1	月に1回以上の支援が必要	2.1	週に1回以上の支援が必要	3.9	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	5.3		
			感情が不安定	支援が不要	0	希に支援が必要	2.1	月に1回以上の支援が必要	2.6	週に1回以上の支援が必要	3.7	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	5.4		
			昼夜逆転	支援が不要	0	希に支援が必要	2.1	月に1回以上の支援が必要	2.9	週に1回以上の支援が必要	3.5	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	3.5		
			暴言暴行	支援が不要	0	希に支援が必要	2.6	月に1回以上の支援が必要	3.0	週に1回以上の支援が必要	4.4	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	6.2		
			同じ話をする	支援が不要	0	希に支援が必要	2.1	月に1回以上の支援が必要	2.4	週に1回以上の支援が必要	3.3	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	4.8		
			大声・奇声を出す	支援が不要	0	希に支援が必要	2.7	月に1回以上の支援が必要	3.0	週に1回以上の支援が必要	4.1	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	6.0		
			支援の拒否	支援が不要	0	希に支援が必要	2.8	月に1回以上の支援が必要	3.4	週に1回以上の支援が必要	4.3	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	5.9		
			徘徊	支援が不要	0	希に支援が必要	3.7	月に1回以上の支援が必要	3.8	週に1回以上の支援が必要	4.4	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	6.0		
	落ち着きがない	支援が不要	0	希に支援が必要	4.4	月に1回以上の支援が必要	5.0	週に1回以上の支援が必要	5.5	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	7.0				

目	A群	外出して戻れない	支援が不要	0	希に支援が必要	3.3	月に1回以上の支援が必要	4.3	週に1回以上の支援が必要	4.3	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	5.0	
		1人で出たがる	支援が不要	0	希に支援が必要	5.0	月に1回以上の支援が必要	5.4	週に1回以上の支援が必要	6.1	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	7.0	
		収集癖	支援が不要	0	希に支援が必要	3.8	月に1回以上の支援が必要	4.1	週に1回以上の支援が必要	4.5	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	5.7	
		物や衣類を壊す	支援が不要	0	希に支援が必要	4.3	月に1回以上の支援が必要	5.0	週に1回以上の支援が必要	5.8	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	7.1	
		不潔行為	支援が不要	0	希に支援が必要	4.9	月に1回以上の支援が必要	5.5	週に1回以上の支援が必要	5.5	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	6.6	
		異食行動	支援が不要	0	希に支援が必要	5.1	月に1回以上の支援が必要	5.1	週に1回以上の支援が必要	6.1	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	6.2	
		ひどい物忘れ	支援が不要	0	希に支援が必要	0.6	月に1回以上の支援が必要	0.7	週に1回以上の支援が必要	1.0	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	2.1	
		集団への不適応	支援が不要	0	希に支援が必要	3.1	月に1回以上の支援が必要	3.4	週に1回以上の支援が必要	4.8	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	5.6	
		8	行動上の障害（B群）	こだわり	支援が不要	0	希に支援が必要	1.9	月に1回以上の支援が必要	2.6	週に1回以上の支援が必要	3.6	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要
	多動・行動停止			支援が不要	0	希に支援が必要	3.2	月に1回以上の支援が必要	3.5	週に1回以上の支援が必要	5.6	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	9.1
	不安定な行動			支援が不要	0	希に支援が必要	2.3	月に1回以上の支援が必要	3.5	週に1回以上の支援が必要	6.3	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	10.0
	自らを傷つける行為			支援が不要	0	希に支援が必要	3.5	月に1回以上の支援が必要	4.9	週に1回以上の支援が必要	6.9	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	9.2
	他人を傷つける行為			支援が不要	0	希に支援が必要	3.5	月に1回以上の支援が必要	4.6	週に1回以上の支援が必要	7.2	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	11.0
	不適切な行為			支援が不要	0	希に支援が必要	4.4	月に1回以上の支援が必要	5.5	週に1回以上の支援が必要	6.7	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	9.9
	突発的な行動			支援が不要	0	希に支援が必要	5.5	月に1回以上の支援が必要	8.3	週に1回以上の支援が必要	10.7	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	12.7
	過食・反すう等			支援が不要	0	希に支援が必要	4.2	月に1回以上の支援が必要	4.5	週に1回以上の支援が必要	4.9	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	7.0
	多飲水・過飲水			支援が不要	0	希に支援が必要	3.6	月に1回以上の支援が必要	4.4	週に1回以上の支援が必要	6.8	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	9.1
	反復的行動			支援が不要	0	希に支援が必要	3.4	月に1回以上の支援が必要	4.0	週に1回以上の支援が必要	4.1	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	6.7
	感覚過敏・感覚鈍麻			ない	0	ある	9.1						
	9			行動上の障害（C群）	そう鬱状態	支援が不要	0	希に支援が必要	12.3	月に1回以上の支援が必要	14.2	週に1回以上の支援が必要	15.2
		対人面の不安緊張	支援が不要		0	希に支援が必要	17.3	月に1回以上の支援が必要	19.0	週に1回以上の支援が必要	19.6	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	20.8
		意欲が乏しい	支援が不要		0	希に支援が必要	15.3	月に1回以上の支援が必要	15.7	週に1回以上の支援が必要	15.9	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	16.2
		話がまとまらない	支援が不要		0	希に支援が必要	13.4	月に1回以上の支援が必要	13.4	週に1回以上の支援が必要	13.5	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	13.5
		集中力が続かない	支援が不要		0	希に支援が必要	13.6	月に1回以上の支援が必要	13.6	週に1回以上の支援が必要	13.6	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	13.6
		自己の過大評価	支援が不要		0	希に支援が必要	13.8	月に1回以上の支援が必要	13.9	週に1回以上の支援が必要	15.3	ほぼ毎日（週に5日以上）の支援が必要	16.8
	10	特別な医療	点滴の管理	ない	0	ある	5.8						
			中心静脈栄養	ない	0	ある	16.1						
			透析	ない	0	ある	0.2						
			ストーマの処置	ない	0	ある	1.7						
			酸素療法	ない	0	ある	10.2						
			レスピレーター	ない	0	ある	16.9						
			気管切開の処置	ない	0	ある	14.9						
			疼痛の看護	ない	0	ある	1.2						
			経管栄養	ない	0	ある	8.6						
			モニター測定	ない	0	ある	15.9						
			じょくそうの処置	ない	0	ある	3.7						
			カテーテル	ない	0	ある	4.8						
	11	麻痺・拘縮	麻痺	ない	0	いずれか一肢のみ	2.9	両下肢のみ	4.9	左上下肢あるいは右上下肢のみ	8.2	その他の四肢の麻痺	13.9
			関節の拘縮 肩関節	ない	0	ある	18.6						
			関節の拘縮 肘関節	ない	0	ある	19.6						
関節の拘縮 股関節			ない	0	ある	18.0							
関節の拘縮 膝関節			ない	0	ある	17.2							
関節の拘縮 その他			ない	0	ある	12.7							
			麻痺 左上肢	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0		
			麻痺 右上肢	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0		
			麻痺 左下肢	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0		

医 師 意 見 書	12	その他の医師意見書項目	麻痺 右下肢	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0				
			麻痺 その他	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0				
			関節の拘縮 肩関節 左	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0				
			関節の拘縮 肩関節 右	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0				
			関節の拘縮 股関節 左	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0				
			関節の拘縮 股関節 右	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0				
			関節の拘縮 肘関節 左	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0				
			関節の拘縮 肘関節 右	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0				
			関節の拘縮 膝関節 左	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0				
			関節の拘縮 膝関節 右	ない	0	ある（軽度）	2.0	ある（中度）	3.0	ある（重度）	4.0				
			てんかん	ない	0	ある（年1回以上）	1.0	ある（月1回以上）	1.5	ある（週1回以上）	2.0				
			二軸評価 精神症状	1	0	2	2.0	3	3.0	4	4.0	5	5.0	6	6.0
			二軸評価 能力障害	1	0	2	2.0	3	3.0	4	4.0	5	5.0		
			生活障害評価 食事	1	0	2	2.0	3	3.0	4	4.0	5	5.0		
			生活障害評価 生活リズム	1	0	2	2.0	3	3.0	4	4.0	5	5.0		
			生活障害評価 保清	1	0	2	2.0	3	3.0	4	4.0	5	5.0		
			生活障害評価 金銭管理	1	0	2	2.0	3	3.0	4	4.0	5	5.0		
			生活障害評価 服薬管理	1	0	2	2.0	3	3.0	4	4.0	5	5.0		
			生活障害評価 対人関係	1	0	2	2.0	3	3.0	4	4.0	5	5.0		
			生活障害評価 社会的適応	1	0	2	2.0	3	3.0	4	4.0	5	5.0		

注1 1の群から10の群までについては調査項目に基づき、11の群については医師意見書に基づき、各項目のうち当てはまるものに係る点数を算定し、又は当該点数を各群につき合計する。

2 12の群については医師意見書に基づき、各項目のうち当てはまるものに係る点数を算定する。

別表第二（第一条関係）

区分等	番号	条 件												区分等該当可能性
非該当	1	生活機能Ⅱ ≤ 23.5 かつ 麻痺 ≤ 2.9	かつ 応用日常生活動作 = 0.0	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 行動上の障害（C群） = 0.0	かつ 金銭の管理 = 0.0	かつ 感情が不安定 = 0.0							62.2%
	2	応用日常生活動作 = 0.0 かつ 関節の拘縮 肩関節 = 0.0	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 行動上の障害（B群） = 0.0	かつ 特別な医療 = 0.0	かつ 片足での立位保持 = 0.0	かつ 集中力が続かない = 0.0							82.4%
一	3	生活機能Ⅱ = 0.0	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群） ≥ 0.1	かつ 行動上の障害（B群） = 0.0	かつ 感情が不安定 = 0.0	かつ 麻痺 ≤ 2.9							64.0%
	4	生活機能Ⅱ ≤ 23.5 かつ 二軸評価 能力障害 ≥ 2.0	かつ 応用日常生活動作 ≤ 13.0	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 金銭の管理 ≥ 1.4	かつ 感情が不安定 = 0.0	かつ 麻痺 ≤ 2.9							80.4%
	5	生活機能Ⅱ = 0.0 かつ 二軸評価 能力障害 ≤ 2.0	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群） ≥ 0.1	かつ 行動上の障害（B群） ≥ 0.1	かつ 感情が不安定 = 0.0	かつ 麻痺 ≤ 2.9							66.1%
	6	生活機能Ⅱ ≤ 23.5 かつ 二軸評価 能力障害 ≤ 3.0	かつ 応用日常生活動作 ≤ 13.0	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 金銭の管理 ≥ 1.4	かつ 感情が不安定 = 0.0	かつ 麻痺 ≤ 2.9							61.3%
	7	生活機能Ⅱ ≤ 23.5 かつ 麻痺 ≤ 2.9	かつ 応用日常生活動作 ≤ 13.0	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 行動上の障害（C群） ≥ 0.1	かつ 金銭の管理 = 0.0	かつ 感情が不安定 = 0.0							61.1%
	8	起居動作 ≥ 0.1 かつ 麻痺 ≤ 2.9	かつ 生活機能Ⅱ ≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作 ≥ 13.1	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 感情が不安定 = 0.0							50.9%
	9	起居動作 = 0.0 かつ 行動上の障害（C群） ≤ 12.4	かつ 生活機能Ⅰ ≤ 15.5	かつ 生活機能Ⅱ = 0.0	かつ 応用日常生活動作 ≥ 36.2	かつ 応用日常生活動作 ≤ 73.2	かつ 行動上の障害（A群） ≤ 20.1							62.6%
	10	起居動作 = 0.0 かつ 感情が不安定 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ ≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作 ≥ 13.1	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 行動上の障害（C群） ≥ 23.7							50.0%
	11	生活機能Ⅱ = 0.0 かつ 麻痺 ≤ 2.9	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群） ≥ 0.1	かつ 行動上の障害（B群） ≥ 0.1	かつ 感情が不安定 = 0.0	かつ 意欲が乏しい = 0.0							47.4%
	12	生活機能Ⅱ ≤ 23.5 かつ 感情が不安定 = 0.0	かつ 応用日常生活動作 ≥ 0.1	かつ 応用日常生活動作 ≤ 13.0	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 行動上の障害（C群） = 0.0	かつ 金銭の管理 = 0.0							42.1%
	13	起居動作 = 0.0 かつ 感情が不安定 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ ≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作 ≥ 13.1	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 行動上の障害（C群） ≤ 23.6							64.0%
	14	生活機能Ⅱ ≥ 0.1 かつ 行動上の障害（C群） ≤ 14.0	かつ 生活機能Ⅱ ≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 認知機能 ≤ 10.7	かつ 行動上の障害（A群） ≥ 0.1	かつ 行動上の障害（A群） ≤ 14.1							59.1%
	15	起居動作 = 0.0 かつ 日常の意思決定 ≥ 9.1	かつ 生活機能Ⅱ ≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作 ≥ 13.1	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 行動上の障害（C群） ≤ 23.6							92.7%
	16	起居動作 = 0.0 かつ 日常の意思決定 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ ≤ 6.7	かつ 応用日常生活動作 ≥ 13.1	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 行動上の障害（C群） ≤ 23.6							88.9%
	17	起居動作 = 0.0 かつ 日常の意思決定 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ ≤ 6.7	かつ 応用日常生活動作 ≥ 13.1	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 行動上の障害（C群） ≤ 23.6							74.1%
	18	起居動作 = 0.0 かつ 行動上の障害（C群） ≤ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ ≥ 6.8	かつ 生活機能Ⅱ ≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作 ≥ 13.1	かつ 応用日常生活動作 ≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0							72.3%
	19	生活機能Ⅱ = 0.0	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 特別な医療 = 0.0	かつ 洗濯 = 7.0	かつ 生活障害評価 金銭管理 = 3.0								88.9%
	20	生活機能Ⅱ = 0.0	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 金銭の管理 = 1.4	かつ 二軸評価 能力障害 = 2.0	かつ 生活障害評価 対人関係 = 2.0								96.6%
	21	入浴 = 0.0	かつ 感情が不安定 = 0.0	かつ 二軸評価 能力障害 = 2.0	かつ 生活障害評価 生活リズム = 0.0	かつ 生活障害評価 服薬管理 = 2.0								84.4%
	22	生活機能Ⅱ = 0.0	かつ 調理 = 9.4	かつ 感情が不安定 = 0.0	かつ 二軸評価 能力障害 = 2.0	かつ 生活障害評価 生活リズム = 0.0								82.9%
	23	生活機能Ⅱ = 0.0	かつ 認知機能 ≥ 0.1	かつ 認知機能 ≤ 13.1	かつ 行動上の障害（A群） = 0.0	かつ 金銭の管理 = 1.4	かつ 二軸評価 能力障害 = 2.0							87.0%

	24	応用日常生活動作	≥	0.1	かつ	応用日常生活動作	≤	32.9	かつ	行動上の障害（Ａ群）	=	0.0	かつ	洗濯	=	7.0	かつ	生活障害評価 食事	=	3.0	かつ	生活障害評価 保清	=	3.0	94.1%
	25	視聴覚機能	=	0.0	かつ	掃除	=	0.0	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	集中力が続かない	=	0.0	かつ	二軸評価 能力障害	=	2.0	かつ	生活障害評価 金銭管理	=	3.0	87.5%
	26	視聴覚機能	=	0.0	かつ	掃除	=	0.0	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	ひどい物忘れ	=	0.0	かつ	二軸評価 能力障害	=	2.0	かつ	生活障害評価 金銭管理	=	3.0	85.7%
	27	応用日常生活動作	≥	0.1	かつ	応用日常生活動作	≤	32.9	かつ	行動上の障害（Ａ群）	=	0.0	かつ	洗濯	=	7.0	かつ	二軸評価 能力障害	=	3.0	かつ	生活障害評価 金銭管理	=	3.0	90.6%
	28	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	=	0.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	=	0.0	かつ	行動上の障害（Ｃ群）	=	0.0	かつ	片足での立位保持	≥	2.8	かつ	片足での立位保持	≤	3.4	75.0%
		かつ 金銭の管理	=	0.0	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	麻痺	≤	2.9													
	29	生活機能Ⅱ	=	0.0	かつ	応用日常生活動作	≥	36.2	かつ	応用日常生活動作	≤	73.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≥	20.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	32.7					68.5%
	30	生活機能Ⅱ	≤	10.6	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	麻痺・拘縮	≤	8.7	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	麻痺	≥	4.9					67.0%
	31	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≥	21.0	かつ	調理	=	0.0	かつ	感情が不安定	≥	2.1					61.6%
	32	起居動作	≤	6.8	かつ	生活機能Ⅰ	≤	4.0	かつ	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≥	73.3	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	16.7					60.5%
	33	生活機能Ⅱ	≥	10.7	かつ	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	麻痺	≥	4.9					53.0%
	34	生活機能Ⅱ	≤	10.6	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	麻痺・拘縮	≥	8.8	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	麻痺	≥	4.9	かつ	麻痺 右下肢	=	0.0	90.9%
	35	生活機能Ⅱ	≤	10.6	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	麻痺・拘縮	≥	8.8	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	麻痺	≥	4.9	かつ	麻痺 左下肢	=	0.0	90.9%
	36	生活機能Ⅱ	≤	10.6	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	麻痺・拘縮	≥	8.8	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	麻痺	≥	4.9	かつ	麻痺 右下肢	≥	2.0	80.0%
	37	生活機能Ⅱ	≤	10.6	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	麻痺・拘縮	≥	8.8	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	麻痺	≥	4.9	かつ	麻痺 左下肢	≥	2.0	80.0%
	38	生活機能Ⅰ	≤	15.5	かつ	生活機能Ⅱ	=	0.0	かつ	応用日常生活動作	≥	36.2	かつ	応用日常生活動作	≤	73.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	20.1	かつ	感情が不安定	≥	2.1	74.5%
	39	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	認知機能	≥	0.1	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	20.9	かつ	行動上の障害（Ｃ群）	≤	38.6	かつ	感情が不安定	≥	2.1	74.4%
	40	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	認知機能	=	0.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	20.9	かつ	感情が不安定	≥	2.1	かつ	昼夜逆転	≥	2.1	72.2%
	41	生活機能Ⅰ	≥	15.6	かつ	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≥	36.2	かつ	応用日常生活動作	≤	73.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	20.1	かつ	麻痺・拘縮	≤	7.1	59.0%
	42	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	認知機能	≥	0.1	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	20.9	かつ	行動上の障害（Ｃ群）	≥	38.7	かつ	感情が不安定	≥	2.1	56.9%
	43	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	認知機能	=	0.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	20.9	かつ	感情が不安定	≥	2.1	かつ	昼夜逆転	=	0.0	48.1%
	44	生活機能Ⅱ	≥	0.1	かつ	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≥	14.2	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	麻痺	≤	2.9	42.2%
	45	起居動作	≥	0.1	かつ	生活機能Ⅰ	≤	15.5	かつ	生活機能Ⅱ	=	0.0	かつ	応用日常生活動作	≥	36.2	かつ	応用日常生活動作	≤	73.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	20.1	80.4%
			かつ 感情が不安定	=	0.0																				
	46	生活機能Ⅰ	≤	15.5	かつ	生活機能Ⅱ	≥	0.1	かつ	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≥	36.2	かつ	応用日常生活動作	≤	73.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	8.4	53.8%
			かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≥	38.7																				
	47	生活機能Ⅰ	=	0.0	かつ	生活機能Ⅱ	≥	0.1	かつ	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≥	36.2	かつ	応用日常生活動作	≤	73.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	20.1	74.1%
			かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≤	38.6	かつ	片足での立位保持	≥	11.4																
	48	生活機能Ⅱ	=	0.0	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≥	0.1	かつ	行動上の障害（Ｂ群）	≥	0.1	かつ	感情が不安定	=	0.0	かつ	意欲が乏しい	≥	15.3	68.4%
			かつ 麻痺	≤	2.9	かつ	二軸評価 能力障害	≥	3.0																
49	起居動作	=	0.0	かつ	生活機能Ⅰ	≤	15.5	かつ	生活機能Ⅱ	=	0.0	かつ	応用日常生活動作	≥	42.8	かつ	応用日常生活動作	≤	73.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	20.1	67.9%	
		かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≥	12.5	かつ	感情が不安定	=	0.0																	
50	生活機能Ⅰ	≤	21.0	かつ	生活機能Ⅱ	≥	23.6	かつ	生活機能Ⅱ	≤	32.7	かつ	応用日常生活動作	≤	73.2	かつ	認知機能	≥	20.6	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	32.7	58.9%	
		かつ 移乗	=	0.0	かつ	暴言暴行	=	0.0																	
51	生活機能Ⅱ	≥	0.1	かつ	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≤	36.1	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≥	0.1	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	14.1	かつ	行動上の障害（Ｃ群）	≥	14.1	58.0%	
		かつ 感情が不安定	=	0.0	かつ	麻痺	≤	2.9																	
52	起居動作	=	0.0	かつ	生活機能Ⅰ	≤	15.5	かつ	生活機能Ⅱ	=	0.0	かつ	応用日常生活動作	≥	36.2	かつ	応用日常生活動作	≤	42.7	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	20.1	56.9%	
		かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≥	12.5	かつ	感情が不安定	=	0.0																	
53	生活機能Ⅰ	≤	15.5	かつ	生活機能Ⅱ	≥	0.1	かつ	生活機能Ⅱ	≤	23.5	かつ	応用日常生活動作	≥	36.2	かつ	応用日常生活動作	≤	73.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≥	8.5	55.4%	
		かつ 行動上の障害（Ａ群）	≤	20.1	かつ	行動上の障害（Ｃ群）	≥	38.7																	
54	生活機能Ⅰ	≤	21.0	かつ	生活機能Ⅱ	≥	23.6	かつ	生活機能Ⅱ	≤	50.6	かつ	応用日常生活動作	≤	73.2	かつ	認知機能	≤	20.5	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≤	32.7	52.2%	
		かつ 移乗	=	0.0	かつ	片足での立位保持	≥	2.8																	

二	55	生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≧ 0.1 ≦ 14.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 感情が不安定	≦ 23.5 = 0.0	かつ 応用日常生活動作 かつ 麻痺	≦ 36.1 ≦ 2.9	かつ 認知機能	≧ 10.8	かつ 行動上の障害（A群）	≧ 0.1	かつ 行動上の障害（A群）	≦ 14.1	43.5%
	56	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≧ 23.6 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ こだわり	≦ 50.6 = 0.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≦ 20.5	かつ 行動上の障害（A群）	≦ 32.7	74.3%
	57	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≧ 23.6 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ こだわり	≦ 50.6 ≧ 1.9	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≦ 20.5	かつ 行動上の障害（A群）	≦ 32.7	52.3%
	58	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（A群）	≧ 0.1 ≦ 20.1	かつ 生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（C群）	≦ 15.5 ≦ 38.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≧ 0.1 ≧ 11.4	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≧ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	48.5%
	59	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（A群）	≦ 15.5 ≦ 20.1	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≧ 0.1 ≦ 38.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≦ 23.5 ≦ 3.4	かつ 応用日常生活動作 かつ 生活障害評価 対人関係	≧ 36.2 ≦ 3.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 51.6	かつ 認知機能	≧ 19.0	77.8%
	60	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（A群）	≦ 15.5 ≦ 20.1	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≧ 0.1 ≦ 38.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≦ 23.5 ≦ 3.4	かつ 応用日常生活動作 かつ 生活障害評価 対人関係	≧ 51.7 ≦ 3.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≧ 19.0	70.5%
	61	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（A群）	≦ 15.5 ≦ 20.1	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≧ 0.1 ≦ 38.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 移乗	≦ 23.5 ≧ 6.6	かつ 応用日常生活動作 かつ 片足での立位保持	≧ 36.2 ≦ 3.4	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≦ 18.9	67.2%
	62	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（A群）	≦ 15.5 ≦ 20.1	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≧ 0.1 ≦ 38.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≦ 23.5 ≦ 3.4	かつ 応用日常生活動作 かつ 生活障害評価 対人関係	≧ 36.2 ≧ 4.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≧ 19.0	52.5%
	63	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（A群）	≦ 15.5 ≦ 20.1	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≧ 0.1 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 麻痺・拘縮	≦ 23.5 ≧ 0.1	かつ 応用日常生活動作 かつ 移乗	≧ 36.2 = 0.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≦ 18.9	95.9%
	64	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（A群）	≦ 15.5 ≧ 1.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（A群）	≧ 0.1 ≦ 20.1	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≦ 23.5 ≦ 38.6	かつ 応用日常生活動作 かつ 麻痺・拘縮	≧ 36.2 = 0.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≦ 18.9	81.0%
	65	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（A群）	≦ 15.5 ≦ 20.1	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≧ 0.1 ≧ 0.1	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≦ 23.5 ≦ 38.6	かつ 応用日常生活動作 かつ 麻痺・拘縮	≧ 36.2 ≧ 0.1	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≦ 18.9	75.4%
	66	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（A群）	≦ 15.5 ≦ 1.5	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≧ 0.1 ≦ 38.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 麻痺・拘縮	≦ 23.5 = 0.0	かつ 応用日常生活動作 かつ 移乗	≧ 36.2 = 0.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≦ 18.9	72.4%
	67	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（A群）	≦ 15.5 ≦ 1.5	かつ 生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≧ 0.1 ≦ 38.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 麻痺・拘縮	≦ 23.5 = 0.0	かつ 応用日常生活動作 かつ 移乗	≧ 36.2 = 0.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≦ 18.9	49.1%
	68	入浴	= 0.0	かつ 交通手段の利用	= 0.0	かつ 麻痺 右上肢	= 3.0							80.0%
	69	入浴	= 0.0	かつ 交通手段の利用	= 0.0	かつ 麻痺 左上肢	= 3.0							80.0%
	70	生活機能Ⅰ	= 0.0	かつ 入浴	= 0.0	かつ 透析	= 0.2							84.8%
	71	起き上がり	= 0.0	かつ 交通手段の利用	= 0.0	かつ 透析	= 0.2							90.9%
	72	生活機能Ⅰ	= 0.0	かつ 特別な医療	≧ 0.1	かつ 特別な医療	≦ 3.7	かつ 入浴	= 0.0					80.9%
	73	生活機能Ⅱ かつ 交通手段の利用	≧ 0.1 = 18.9	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 19.5	かつ 視聴覚機能	≧ 10.7	かつ 視聴覚機能	≦ 41.1	かつ 応用日常生活動作	≧ 33.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 61.5	88.1%
	74	交通手段の利用 かつ 関節の拘縮 その他	= 0.0 = 0.0	かつ 透析	= 0.2	かつ 関節の拘縮 肩関節	= 0.0	かつ 関節の拘縮 股関節	= 0.0	かつ 関節の拘縮 肘関節	= 0.0	かつ 関節の拘縮 膝関節	= 0.0	88.2%
	75	生活機能Ⅱ かつ 金銭の管理	≧ 0.1 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≧ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 行動上の障害（A群）	≧ 20.2	かつ 行動上の障害（A群）	≦ 32.7	50.0%
	76	生活機能Ⅱ かつ 買い物	≧ 0.1 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≧ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 行動上の障害（A群）	≧ 20.2	かつ 行動上の障害（A群）	≦ 32.7	55.6%
	77	生活機能Ⅱ かつ 視力	≧ 0.1 ≧ 25.5	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 19.5 ≦ 28.3	かつ 応用日常生活動作	≧ 33.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 61.5	かつ 認知機能	≧ 0.1	かつ 認知機能	≦ 13.1	82.5%

	78	起居動作 かつ 行動上の障害（C群）	= 0.0 ≤ 24.7	かつ 生活機能Ⅰ かつ 移乗	≥ 21.1 ≤ 6.6	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 34.8	かつ 応用日常生活動作	≤ 69.4	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 30.2	60.7%
	79	生活機能Ⅱ かつ 意欲が乏しい	= 0.0 = 0.0	かつ 応用日常生活動作 かつ 麻痺	≤ 36.1 ≤ 2.9	かつ 行動上の障害（A群） かつ 二軸評価 能力障害	≥ 0.1 ≥ 3.0	かつ 行動上の障害（B群）	≥ 0.1	かつ 被害的・拒否的	= 2.1	かつ 感情が不安定	= 0.0	50.0%
	80	生活機能Ⅱ かつ 意欲が乏しい	= 0.0 = 0.0	かつ 応用日常生活動作 かつ 麻痺	≤ 36.1 ≤ 2.9	かつ 行動上の障害（A群） かつ 二軸評価 能力障害	≥ 0.1 ≥ 3.0	かつ 行動上の障害（B群）	≥ 0.1	かつ 感情が不安定	= 0.0	かつ 反復的行動	= 6.7	57.1%
	81	生活機能Ⅱ かつ 麻痺	= 0.0 ≤ 2.9	かつ 応用日常生活動作 かつ 二軸評価 能力障害	≤ 36.1 ≥ 3.0	かつ 行動上の障害（A群） かつ 生活障害評価 金銭管理	≥ 0.1 = 2.0	かつ 行動上の障害（B群）	≥ 0.1	かつ 感情が不安定	= 0.0	かつ 意欲が乏しい	= 0.0	51.9%
	82	生活機能Ⅱ かつ 意欲が乏しい	= 0.0 = 0.0	かつ 応用日常生活動作 かつ 麻痺	≤ 36.1 ≤ 2.9	かつ 行動上の障害（A群） かつ 二軸評価 能力障害	≥ 0.1 ≥ 3.0	かつ 行動上の障害（B群）	≥ 0.1	かつ 感情が不安定	= 0.0	かつ 支援の拒否	= 2.8	52.6%
	83	生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≥ 0.1 ≤ 14.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 感情が不安定	≤ 23.5 = 0.0	かつ 応用日常生活動作 かつ 麻痺	≤ 36.1 ≤ 2.9	かつ 認知機能 かつ 生活障害評価 金銭管理	≤ 10.7 = 3.0	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 0.1	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 14.1	80.0%
	84	生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≥ 0.1 ≤ 14.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 被害的・拒否的	≤ 23.5 = 1.9	かつ 応用日常生活動作 かつ 感情が不安定	≤ 36.1 = 0.0	かつ 認知機能 かつ 麻痺	≤ 10.7 ≤ 2.9	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 0.1	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 14.1	100.0%
	85	生活機能Ⅱ かつ 行動上の障害（C群）	≥ 0.1 ≤ 14.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 感情が不安定	≤ 23.5 = 0.0	かつ 応用日常生活動作 かつ 麻痺	≤ 36.1 ≤ 2.9	かつ 認知機能 かつ 生活障害評価 服薬管理	≤ 10.7 = 4.0	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 0.1	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 14.1	60.0%
	86	起居動作	≥ 6.9	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≥ 73.3	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 16.7					76.9%
	87	生活機能Ⅱ	≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≥ 73.3	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 16.8	かつ 不安定な行動	≤ 2.3					56.3%
	88	生活機能Ⅰ	≤ 21.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 34.8	かつ 応用日常生活動作	≤ 73.2	かつ 移乗	≥ 6.6			69.7%
	89	起居動作	≤ 6.8	かつ 生活機能Ⅰ	≥ 4.1	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≥ 73.3	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 16.7			59.7%
	90	生活機能Ⅱ	≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≥ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≤ 73.2	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 32.8	かつ そう鬱状態	≥ 12.3			58.5%
	91	生活機能Ⅰ	≤ 21.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 34.9	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≤ 73.2	かつ 移乗	≥ 6.6			47.0%
	92	生活機能Ⅱ	≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≤ 36.1	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 21.0	かつ 調理	≥ 9.4	かつ 感情が不安定	≥ 2.1			46.1%
	93	生活機能Ⅱ	≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≥ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≤ 73.2	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 32.8	かつ そう鬱状態	= 0.0			34.3%
	94	生活機能Ⅰ	≤ 21.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≥ 73.3	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 14.1	かつ 排尿	≥ 11.6	57.3%
	95	生活機能Ⅰ	≥ 15.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≥ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≤ 73.2	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 20.1	かつ 麻痺・拘縮	≥ 7.2	52.8%
	96	生活機能Ⅰ	≤ 21.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≥ 73.3	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 23.2	かつ 生活障害評価 社会的適応	= 0.0	50.0%
	97	生活機能Ⅱ	≥ 0.1	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≥ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≤ 73.2	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 20.2	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 32.7	45.5%
	98	生活機能Ⅰ	≥ 21.1	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 34.9	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≤ 69.4	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 30.2	かつ 移乗	≤ 6.6	41.9%
	99	生活機能Ⅰ かつ 排尿	≤ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≥ 73.3	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 3.0	かつ 麻痺・拘縮	≥ 8.8	93.8%
	100	生活機能Ⅰ かつ 排尿	≤ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≥ 73.3	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 3.0	かつ 麻痺・拘縮	≤ 8.7	80.6%
	101	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≥ 21.1 ≤ 6.6	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 34.8	かつ 応用日常生活動作	≤ 69.4	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 30.2	かつ 行動上の障害（C群）	≥ 24.8	72.2%
	102	生活機能Ⅰ かつ 排尿	≤ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≥ 73.3	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 3.1	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 14.1	67.7%
	103	生活機能Ⅰ かつ 生活障害評価 社会的適応	≤ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≥ 73.3	かつ 行動上の障害（A群）	≥ 14.2	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 23.1	60.3%
	104	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≥ 21.1 ≤ 6.6	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 34.8	かつ 応用日常生活動作	≤ 69.4	かつ 行動上の障害（A群）	≤ 30.2	かつ 行動上の障害（C群）	≤ 24.7	52.5%

三	105	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≦ 23.9	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 32.8	49.1%
	106	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 暴言暴行	≧ 23.6 ≧ 2.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≧ 20.6	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 32.7	62.5%
	107	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 暴言暴行	≧ 32.8 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≧ 20.6	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 32.7	51.6%
	108	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ｂ群）	≧ 21.1 ≦ 26.4	かつ 生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 35.7 ≦ 6.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 口腔清潔	≧ 23.6 ≧ 6.9	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 41.1	かつ 応用日常生活動作	≧ 69.5	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 30.2	72.7%
	109	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ｂ群）	≧ 21.1 ≦ 26.4	かつ 生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 35.7 ≦ 6.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 口腔清潔	≧ 23.6 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 41.1	かつ 応用日常生活動作	≧ 69.5	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 30.2	56.6%
	110	排尿	= 0.0	かつ こだわり	= 2.6	かつ てんかん	≧ 1.0							45.5%
	111	排便	= 0.0	かつ こだわり	= 2.6	かつ てんかん	≧ 1.0							44.0%
	112	起居動作	≧ 26.7	かつ 起居動作	≦ 62.0	かつ 行動上の障害（Ｂ群）	= 0.0	かつ 移動	= 5.8	かつ 排便	= 10.9			87.5%
	113	起居動作	≧ 26.7	かつ 起居動作	≦ 62.0	かつ 行動上の障害（Ｂ群）	= 0.0	かつ 排便	= 10.9	かつ 麻痺 左下肢	≧ 2.0			81.1%
	114	起居動作	≧ 26.7	かつ 起居動作	≦ 62.0	かつ 行動上の障害（Ｂ群）	= 0.0	かつ 排便	= 10.9	かつ 麻痺 右下肢	≧ 2.0			81.1%
	115	起居動作	≧ 26.7	かつ 起居動作	≦ 62.0	かつ 行動上の障害（Ｂ群）	= 0.0	かつ 排便	= 10.9	かつ 関節の拘縮 その他	= 0.0			80.4%
	116	生活機能Ⅰ	≧ 0.1	かつ 生活機能Ⅰ	≦ 22.4	かつ 移乗	= 6.6	かつ 薬の管理	= 0.0	かつ 麻痺	= 8.2			90.9%
	117	生活機能Ⅰ	≧ 0.1	かつ 生活機能Ⅰ	≦ 22.4	かつ 移乗	= 6.6	かつ 調理	= 20.2	かつ 麻痺	= 8.2			85.3%
	118	生活機能Ⅰ	≧ 0.1	かつ 生活機能Ⅰ	≦ 22.4	かつ 認知機能	= 0.0	かつ 移乗	= 6.6	かつ 入浴	= 6.1	かつ 関節の拘縮 肩関節 右	= 0.0	87.1%
	119	生活機能Ⅰ	≧ 0.1	かつ 生活機能Ⅰ	≦ 22.4	かつ 認知機能	= 0.0	かつ 移乗	= 6.6	かつ 入浴	= 6.1	かつ 関節の拘縮 肩関節 左	= 0.0	87.1%
	120	生活機能Ⅰ	≧ 0.1	かつ 生活機能Ⅰ	≦ 22.4	かつ 寝返り	≧ 7.8	かつ 寝返り	≦ 10.4	かつ 移乗	= 6.6	かつ 調理	= 9.4	90.0%
	121	起居動作	≦ 6.8	かつ 生活機能Ⅰ	≦ 4.0	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≧ 73.3	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 16.7	かつ 移乗	= 6.6	75.0%
	122	生活機能Ⅰ かつ 片足での立位保持	≧ 0.1 ≦ 3.4	かつ 生活機能Ⅰ	≦ 22.4	かつ 寝返り	≧ 7.8	かつ 寝返り	≦ 10.4	かつ 移乗	= 6.6	かつ 片足での立位保持	≧ 2.8	83.0%
	123	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≧ 0.1 = 6.6	かつ 生活機能Ⅰ	≦ 22.4	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 0.1	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 7.1	かつ 寝返り	≧ 7.8	かつ 寝返り	≦ 10.4	82.0%
	124	生活機能Ⅱ かつ 感情が不安定	≦ 23.5 ≧ 2.1	かつ 応用日常生活動作	≦ 36.1	かつ 認知機能	≧ 0.1	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 20.9	かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≦ 38.6	かつ 衣服の着脱	= 12.0	100.0%
	125	生活機能Ⅱ かつ 集団への不適応	≦ 23.5 ≧ 5.6	かつ 応用日常生活動作	≦ 36.1	かつ 認知機能	≧ 0.1	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 20.9	かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≦ 38.6	かつ 感情が不安定	≧ 2.1	100.0%
	126	生活機能Ⅱ かつ 麻痺	≧ 0.1 ≦ 2.9	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≦ 36.1	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 14.2	かつ 感情が不安定	= 0.0	かつ 多飲水・過飲水	≧ 4.4	66.7%
	127	生活機能Ⅱ かつ 落ち着きがない	≧ 0.1 ≦ 5.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 麻痺	≦ 23.5 ≦ 2.9	かつ 応用日常生活動作	≦ 36.1	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 14.2	かつ 感情が不安定	= 0.0	かつ 落ち着きがない	≧ 4.4	83.3%
	128	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≦ 15.5 ≧ 38.7	かつ 生活機能Ⅱ かつ 関節の拘縮 その他	≧ 0.1 = 12.7	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≧ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 8.4	57.1%
	129	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≦ 15.5 ≧ 38.7	かつ 生活機能Ⅱ かつ 移乗	≧ 0.1 = 6.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≧ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 8.4	62.5%
	130	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ｂ群）	≧ 21.1 ≦ 26.4	かつ 生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 35.7 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 41.2	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≧ 69.5	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 30.2	53.8%
	131	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≦ 15.5 ≧ 38.7	かつ 生活機能Ⅱ かつ 落ち着きがない	≧ 0.1 ≧ 4.4	かつ 生活機能Ⅱ かつ 落ち着きがない	≦ 23.5 ≦ 5.0	かつ 応用日常生活動作	≧ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 8.4	100.0%

	132	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≧ 23.6 ≧ 2.8	かつ 生活機能Ⅱ かつ 衣服の着脱	≦ 50.6 = 12.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≦ 20.5	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 32.7	55.6%
	133	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 0.1 ≦ 20.1	かつ 生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≦ 15.5 ≦ 38.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≧ 0.1 ≧ 11.4	かつ 生活機能Ⅱ かつ 関節の拘縮　その他	≦ 23.5 = 12.7	かつ 応用日常生活動作	≧ 36.2	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	53.3%
	134	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≧ 23.6 ≧ 2.8	かつ 生活機能Ⅱ かつ 支援の拒否	≦ 50.6 ≧ 2.8	かつ 応用日常生活動作 かつ 支援の拒否	≦ 73.2 ≦ 3.4	かつ 認知機能	≦ 20.5	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 32.7	57.1%
	135	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 暴言暴行	≧ 23.6 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 落ち着きがない	≦ 32.7 ≧ 4.4	かつ 応用日常生活動作 かつ 落ち着きがない	≦ 73.2 ≦ 5.0	かつ 認知機能	≧ 20.6	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 32.7	75.0%
	136	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 0.1 ≦ 20.1	かつ 生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ｃ群）	≦ 15.5 ≦ 38.6	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≧ 0.1 ≧ 11.4	かつ 生活機能Ⅱ かつ 支援の拒否	≦ 23.5 ≧ 2.8	かつ 応用日常生活動作 かつ 支援の拒否	≧ 36.2 ≦ 3.4	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	75.0%
	137	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 片足での立位保持	≧ 23.6 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ かつ 落ち着きがない	≦ 50.6 ≧ 4.4	かつ 応用日常生活動作 かつ 落ち着きがない	≦ 73.2 ≦ 5.0	かつ 認知機能 かつ こだわり	≦ 20.5 ≧ 1.9	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 32.7	75.0%
四	138	生活機能Ⅱ	≦ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≧ 73.3	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 16.8	かつ 不安定な行動	≧ 3.5					56.5%
	139	生活機能Ⅰ	≦ 37.5	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 50.7	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 74.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 45.1					50.9%
	140	生活機能Ⅰ	≧ 21.1	かつ 生活機能Ⅰ	≦ 40.3	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 30.3			52.8%
	141	生活機能Ⅰ	≧ 40.4	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 30.3	かつ 調理	≦ 9.4			46.5%
	142	生活機能Ⅰ	≦ 21.0	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≧ 73.3	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 14.2	かつ 生活障害評価　社会的適応	≧ 2.0	62.6%
	143	生活機能Ⅰ	≧ 35.8	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≧ 69.5	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 30.2	かつ 移乗	≦ 6.6	61.3%
	144	生活機能Ⅰ	≧ 21.1	かつ 生活機能Ⅰ	≦ 34.5	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 30.2	かつ 移乗	≧ 10.7	55.0%
	145	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 21.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≦ 73.2	かつ 認知機能	≧ 24.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 32.8	50.0%
	146	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ｂ群）	≧ 21.1 ≧ 26.5	かつ 生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 35.7 ≦ 6.6	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≧ 69.5	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 30.2	55.4%
	147	生活機能Ⅰ かつ 麻痺	≧ 37.6 ≦ 4.9	かつ 生活機能Ⅰ かつ 生活障害評価　社会的適応	≦ 59.9 ≦ 3.0	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 50.7	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 74.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 40.2	かつ 移乗	≦ 6.6	53.4%
	148	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ｂ群）	≧ 21.1 ≦ 26.4	かつ 生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 35.7 ≦ 6.6	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 41.2	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≧ 69.5	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 30.2	52.4%
	149	生活機能Ⅱ	≧ 19.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 42.6	かつ １人で出たがる	= 0.0	かつ 反復的行動	≧ 4.1	かつ 自己の過大評価	= 0.0	かつ 生活障害評価　社会的適応	= 5.0	80.6%
	150	生活機能Ⅰ	≧ 34.6	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 30.2	かつ 移乗	≧ 10.7	かつ 衣服の着脱	= 0.0	66.7%
	151	生活機能Ⅰ	≧ 34.6	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 23.6	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 30.2	かつ 移乗	≧ 10.7	かつ 入浴	≦ 6.1	60.9%
	152	生活機能Ⅱ	≦ 23.5	かつ 応用日常生活動作	≦ 36.1	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 21.0	かつ 調理	≧ 9.4	かつ 感情が不安定	≧ 2.1	かつ 二軸評価　能力障害	= 5.0	100.0%
	153	生活機能Ⅱ かつ 生活障害評価　社会的適応	≧ 19.6 = 5.0	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 42.6	かつ 認知機能	≧ 43.8	かつ 認知機能	≦ 85.4	かつ 反復的行動	≧ 4.1	かつ 自己の過大評価	= 0.0	80.6%
	154	生活機能Ⅰ かつ 生活障害評価　生活リズム	≧ 21.1 ≧ 4.0	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 34.9	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 50.6	かつ 応用日常生活動作	≦ 69.4	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 30.2	かつ 移乗	≦ 6.6	60.0%
	155	生活機能Ⅰ かつ 衣服の着脱	≧ 37.6 = 0.0	かつ 生活機能Ⅰ かつ 生活障害評価　社会的適応	≦ 59.9 ≦ 3.0	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 50.7	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 64.2	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 40.3	かつ 移乗	≦ 6.6	60.0%
	156	生活機能Ⅰ かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 37.6 ≦ 36.6	かつ 生活機能Ⅰ かつ 移乗	≦ 42.0 ≧ 10.7	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 50.7	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 74.0	かつ 応用日常生活動作	≧ 33.0	かつ 応用日常生活動作	≦ 61.5	75.0%
	157	生活機能Ⅰ	≦ 37.5	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 50.7	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 74.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≧ 45.2					59.8%
	158	生活機能Ⅰ	≧ 60.0	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 50.7	かつ 生活機能Ⅱ	≦ 70.9	かつ 食事	≦ 14.4					56.1%
	159	生活機能Ⅰ	≦ 42.0	かつ 生活機能Ⅱ	≧ 78.2	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≦ 44.4	かつ 食事	≦ 14.4	かつ 他人を傷つける行為	= 0.0			66.7%

五	160	生活機能Ⅰ	≧	34.6	かつ	生活機能Ⅱ	≧	23.6	かつ	生活機能Ⅱ	≦	50.6	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	30.2	かつ	移乗	≧	10.7	51.7%				
	161	生活機能Ⅰ	≧	40.4	かつ	生活機能Ⅱ	≧	23.6	かつ	生活機能Ⅱ	≦	50.6	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≧	30.3	かつ	調理	≧	20.2	47.6%				
	162	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	78.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	44.4	かつ	食事	≦	14.4	かつ	他人を傷つける行為	≧	3.5	46.4%				
	163	生活機能Ⅰ	≧	60.0	かつ	生活機能Ⅱ	≧	71.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	50.6	かつ	移乗	≦	6.6	かつ	食事	≦	14.4	かつ	不安定な行動	≦	3.5	74.1%
	164	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	74.1	かつ	生活機能Ⅱ	≦	78.1	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	44.4	かつ	移乗	≦	6.6	かつ	食事	≦	14.4	42.1%
	165	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	74.1	かつ	生活機能Ⅱ	≦	78.1	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	44.4	かつ	移乗	≧	10.7	かつ	食事	≦	14.4	69.8%
	166	生活機能Ⅰ	≧	42.1	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	88.1	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	44.4	かつ	食事	≦	14.4	かつ	他人を傷つける行為	=	0.0	59.7%
	167	生活機能Ⅰ	≧	37.6	かつ	生活機能Ⅰ	≦	42.0	かつ	生活機能Ⅱ	≧	50.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	74.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	36.6	かつ	移乗	≧	10.7	55.6%
	168	生活機能Ⅰ	≧	37.6	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	50.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	74.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≧	36.7	かつ	移乗	≧	10.7	48.5%
	169	生活機能Ⅰ	≧	42.1	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	78.2	かつ	生活機能Ⅱ	≦	88.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	44.4	かつ	食事	≦	14.4	76.3%
		かつ	他人を傷つける行為	=	0.0																				
	170	生活機能Ⅰ	≧	37.6	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	50.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	74.0	かつ	行動上の障害（Ｂ群）	≦	59.2	かつ	移乗	≦	6.6	69.9%
		かつ	生活障害評価 社会的適応	≧	4.0																				
	171	生活機能Ⅰ	≧	37.6	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	64.3	かつ	生活機能Ⅱ	≦	74.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≧	40.3	かつ	移乗	≦	6.6	65.1%
		かつ	生活障害評価 社会的適応	≦	3.0																				
	172	生活機能Ⅰ	≧	42.1	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	50.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	74.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	36.6	かつ	移乗	≧	10.7	63.6%
		かつ	食事	≧	23.9																				
	173	生活機能Ⅰ	≧	37.6	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	50.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	64.2	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≧	40.3	かつ	移乗	≦	6.6	47.4%
		かつ	生活障害評価 社会的適応	≦	3.0																				
	174	生活機能Ⅰ	≧	42.1	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	50.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	74.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	36.6	かつ	移乗	≧	10.7	86.5%
		かつ	食事	≦	14.4	かつ	関節の拘縮 膝関節	≧	17.2																
	175	生活機能Ⅰ	≧	42.1	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	50.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	74.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	36.6	かつ	移乗	≧	10.7	66.7%
		かつ	食事	≦	14.4	かつ	関節の拘縮 膝関節	=	0.0																
	176	生活機能Ⅰ	≧	37.6	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	50.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	74.0	かつ	認知機能	≦	65.7	かつ	行動上の障害（Ｂ群）	≧	59.3	60.4%
		かつ	移乗	≦	6.6	かつ	生活障害評価 社会的適応	≧	4.0																
	177	生活機能Ⅰ	≧	37.6	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	50.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	74.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	40.2	かつ	移乗	≦	6.6	55.0%
		かつ	麻痺	≧	8.2	かつ	生活障害評価 社会的適応	≦	3.0																
	178	生活機能Ⅰ	≧	37.6	かつ	生活機能Ⅰ	≦	59.9	かつ	生活機能Ⅱ	≧	50.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	74.0	かつ	認知機能	≧	65.8	かつ	行動上の障害（Ｂ群）	≧	59.3	47.7%
	かつ	移乗	≦	6.6	かつ	生活障害評価 社会的適応	≧	4.0																	
179	生活機能Ⅰ	≧	40.1	かつ	生活機能Ⅰ	≦	61.1	かつ	そう鬱状態	≧	15.2	かつ	麻痺 左下肢	=	4.0									81.8%	
180	生活機能Ⅰ	≧	40.1	かつ	生活機能Ⅰ	≦	61.1	かつ	そう鬱状態	≧	15.2	かつ	麻痺 右下肢	=	4.0									81.8%	
181	生活機能Ⅰ	≧	40.1	かつ	生活機能Ⅰ	≦	61.1	かつ	麻痺 その他	≧	2.0	かつ	関節の拘縮 股関節	=	18.0	かつ	二軸評価 能力障害	=	3.0					90.3%	
182	生活機能Ⅰ	≧	40.1	かつ	生活機能Ⅰ	≦	61.1	かつ	交通手段の利用	=	18.9	かつ	関節の拘縮 股関節	=	18.0	かつ	二軸評価 能力障害	=	3.0					88.2%	
183	生活機能Ⅱ	≧	42.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	69.2	かつ	起き上がり	=	15.0	かつ	移乗	=	10.7	かつ	買い物	=	19.5					86.5%	
184	生活機能Ⅱ	≧	42.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	69.2	かつ	起き上がり	=	15.0	かつ	移乗	=	10.7	かつ	麻痺 右下肢	≧	2.0					82.4%	
185	生活機能Ⅱ	≧	42.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	69.2	かつ	起き上がり	=	15.0	かつ	移乗	=	10.7	かつ	麻痺 左下肢	≧	2.0					82.4%	
186	生活機能Ⅱ	≧	42.7	かつ	生活機能Ⅱ	≦	69.2	かつ	起き上がり	=	15.0	かつ	移乗	=	10.7	かつ	排尿	=	20.1					80.0%	
187	生活機能Ⅰ	≧	60.0	かつ	生活機能Ⅱ	≧	71.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	50.6	かつ	移乗	≦	6.6	かつ	食事	≦	14.4	かつ	掃除	=	6.7	100.0%	
	かつ	不安定な行動	≦	3.5																					
188	生活機能Ⅰ	≧	60.0	かつ	生活機能Ⅱ	≧	71.0	かつ	行動上の障害（Ａ群）	≦	50.6	かつ	麻痺・拘縮	=	0.0	かつ	移乗	≦	6.6	かつ	食事	≦	14.4	64.1%	
	かつ	不安定な行動	≦	3.5																					

	189	生活機能Ⅰ かつ 不安定な行動	≥ 60.0 ≤ 3.5	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 71.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≤ 50.6	かつ 移乗	≤ 6.6	かつ 食事	≤ 14.4	かつ 薬の管理	= 3.3	90.0%
	190	生活機能Ⅰ かつ 不安定な行動	≥ 60.0 ≤ 3.5	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 71.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≤ 50.6	かつ 移乗	≤ 6.6	かつ 食事	≤ 14.4	かつ 説明の理解	= 0.0	83.3%
	191	生活機能Ⅰ かつ 自らを傷つける行為	≥ 60.0 = 0.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 71.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≤ 50.6	かつ 移乗	≤ 6.6	かつ 食事	≤ 14.4	かつ 不安定な行動	≤ 3.5	71.7%
	192	生活機能Ⅰ かつ 食事	≥ 37.6 = 23.9	かつ 生活機能Ⅰ かつ 麻痺	≤ 59.9 ≤ 4.9	かつ 生活機能Ⅱ かつ 生活障害評価 社会的適応	≥ 50.7 ≤ 3.0	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 74.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≤ 40.2	かつ 移乗	≤ 6.6	60.0%
	193	生活機能Ⅰ かつ 移乗	≥ 37.6 ≤ 6.6	かつ 生活機能Ⅰ かつ 麻痺	≤ 59.9 ≤ 4.9	かつ 生活機能Ⅱ かつ 生活障害評価 社会的適応	≥ 50.7 ≤ 3.0	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 74.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≤ 40.2	かつ 行動上の障害（Ｂ群）	≥ 48.1	65.0%
六	194	生活機能Ⅰ	≥ 60.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 50.7	かつ 食事	≥ 23.9							96.8%
	195	生活機能Ⅰ	≤ 59.9	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 74.1	かつ 食事	≥ 23.9							54.6%
	196	生活機能Ⅰ	≥ 60.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 71.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≥ 50.7	かつ 食事	≤ 14.4					84.0%
	197	生活機能Ⅰ	≤ 59.9	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 74.1	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≥ 44.5	かつ 食事	≤ 14.4					59.1%
	198	生活機能Ⅰ	≥ 60.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 71.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≤ 50.6	かつ 移乗	≥ 10.7	かつ 食事	≤ 14.4			68.7%
	199	生活機能Ⅰ	≥ 60.0	かつ 生活機能Ⅱ	≥ 71.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≤ 50.6	かつ 移乗	≤ 6.6	かつ 食事	≤ 14.4	かつ 不安定な行動	≥ 6.3	53.1%
	200	食事	= 23.9	かつ 二軸評価 精神症状	= 4.0									98.5%
	201	食事	= 23.9	かつ １人で出たがる	≥ 6.1									100.0%
	202	食事	= 23.9	かつ 関節の拘縮 その他	= 12.7									98.0%
	203	食事	= 23.9	かつ 視力	= 2.8									98.5%
	204	食事	= 23.9	かつ 大声・奇声を出す	= 6.0									100.0%
	205	食事	= 23.9	かつ 関節の拘縮 股関節 左	= 2.0									98.0%
	206	食事	= 23.9	かつ 関節の拘縮 股関節 右	= 2.0									98.0%
	207	認知機能	≥ 85.5	かつ 特別な医療	≥ 10.3									99.2%
	208	説明の理解	= 15.3	かつ 気管切開の処置	= 14.9									100.0%
	209	気管切開の処置	= 14.9	かつ 麻痺 左上肢	= 4.0									100.0%
	210	気管切開の処置	= 14.9	かつ 麻痺 右上肢	= 4.0									100.0%
	211	生活機能Ⅰ	≥ 61.2	かつ レスピレーター	= 16.9									100.0%
	212	座位保持	= 15.9	かつ 衣服の着脱	= 18.2	かつ てんかん	≥ 1.0							95.0%
	213	座位保持	= 15.9	かつ 移乗	= 15.9	かつ てんかん	≥ 1.0							95.0%
	214	食事	= 23.9	かつ 視力	≥ 25.5	かつ 視力	≤ 28.3							98.7%
	215	生活機能Ⅱ	≥ 69.3	かつ てんかん	≥ 1.0	かつ 生活障害評価 生活リズム	= 5.0							85.7%
	216	生活機能Ⅰ かつ 衣服の着脱	≥ 37.6 = 0.0	かつ 生活機能Ⅰ かつ 麻痺	≤ 59.9 ≥ 8.2	かつ 生活機能Ⅱ かつ 生活障害評価 社会的適応	≥ 50.7 ≤ 3.0	かつ 生活機能Ⅱ	≤ 74.0	かつ 行動上の障害（Ａ群）	≤ 40.2	かつ 移乗	≤ 6.6	100.0%

注１ 条件の欄中、起居動作、生活機能Ⅰ、生活機能Ⅱ、視聴覚機能、応用日常生活動作、認知機能、行動上の障害（Ａ群）、行動上の障害（Ｂ群）、行動上の障害（Ｃ群）、特別な医療及び麻痺・拘縮に係る点数は、それぞれ別表第一により算定される各群の合計点数をいう。

２ 条件の欄中、注１に掲げる事項以外のものに係る点数は、それぞれ別表第一により算定される各項目の点数をいう。